

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回虹色学園コミュニティ・スクール協議会	
開催日時		令和8年2月9日（月）開会 9:00 閉会 11:00	
開催場所		つくば市立研究学園小学校 多目的室	
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	野尻 敏弘、楨 幸子、実川 菜穂、三田部 勇、 島田 由美子、 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、 教頭 岸 ゆう子 研究学園小学校：校長 渡部 哲、 教頭 川島 真由美 教務 土田 剛士	
	その他		
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏	
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため	
議題		熟議 「R7年度学校評価についてと次年度に向けての共有・協議」	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 学園長挨拶 3 予定の確認 4 授業参観（9:05～9:20） 5 協議 ○熟議「R7年度学校評価についてと次年度に向けての共有・協議」 ・R7学校評価アンケートについて ・R8グランド・デザイン（案）について 6 防災イベントの振り返り 7 その他 ・来年度に向けての連絡 8 閉会		

< 審議内容 >

1 開会

三田部会長：令和7年度第3回虹色学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。会議を進行するにあたり書記を虹色学園の楨さんをお願いしたい。

→承認

今年度、最後となる。キャリア学習に参加して教育活動が大変充実していると感じている。この後、授業参観や防災イベントの振り返りがあるので皆様方

の御意見をお願いしたい。

2 学園長挨拶

板谷委員：今年度最後のスクール協議会となる。昨日の降雪で今日は子供たちの登校が 10:15 となった。来年度に向けてのグランド・デザインについても御意見をいただきたい。

3 予定の確認

4 授業参観（小学校、中学校）

5 協議

熟議 テーマ「R7年度学校評価についてと次年度に向けての共有・協議」
・R7学校評価アンケートについて

【中学校の評価結果】

岸委員：「学びの楽しさ」や「学校が楽しい」と実感している。授業、学級経営、自立した行動も高評価であった。課題は、「探究的な学び」「諦めない心の育成」「体力向上」に関する生徒と保護者の認識差がある。改善策としては、探究的な学びの質向上、交流活動での体力向上と達成感の醸成、部活動の地域展開推進と考えている。

【小学校の評価結果】

川島委員：児童が学校生活を楽しみ、安心して過ごせている。課題は、体力向上である。改善策としては、休み時間の活用や外部機関との連携による運動プログラム導入などと捉えている。

・R8グランド・デザイン（案）について→主な変更点は赤字で示す。

板谷委員：

- ・探究的な学びの実現→「協働を重ね、学びを深める単元構成の工夫」を具体化したい。
- ・教育活動の推進→「行事や体験活動におけるやり抜く経験の重視」「楽しみながら動ける体をつくる多様な身体活動の充実」を追加する。働き方改革の推進→部活動の地域展開がまだ進んでいない。

渡部委員：

- ・非認知能力と社会的自立→粘り強さ育成のため「根拠の適切さを考えて自分の考えを伝える」を追加する。
- ・地域、保護者の支援体制の充実→学校活動の「見える化」と「対話」を強調する表現に変更する。小学校では保幼小連携による「遊びから学びへの円滑な接続」を重視する文言を追加する。小中学校で異なっていた項目を統一し、グランド・デザインを1枚にまとめる。

【熟議】

・2グループに分かれ、学校評価とグランド・デザイン（案）の協議を行った。

川島委員：

- ・年代を問わず、児童生徒同士の関係が良好。生徒が安心して登校できていることを示す指標が高い。
- ・親子間の認識ギャップ解消に向け、情報発信を強化したい。
- ・自己調整学習や探究的な学びの意図、目的が保護者に十分伝わっていないため、参観日前に授業の狙いを提示するなど工夫を検討したい。
- ・行事での交流に加え、保育園、幼稚園から小学校へのカリキュラムの連続性を高める。
- ・教員の働き方改革の進捗が見えにくいため、情報発信の改善が必要である。

土田委員：

- ・保護者との連携深化と授業の可視化にむけた具体策を共有したい。
- ・保護者と子どもの授業認識の差に対応し、教員の工夫、努力を積極的に発信する必要がある。
- ・中学校でのミシン授業、調理実習における保護者ボランティア活用事例を紹介し、小学校でもボランティア導入を検討、教員が安心できるよう教室見守りを依頼するなどの案を提示していきたい。これにより、保護者が普段の学校の様子を把握する機会が増える。
- ・月に1～2回、放課後の図書室等で教員と保護者が気軽に話せる場を設けたい。校長、教頭に限らず、他の教員とも直接対話することで、本音や困りごとが伝わりやすくなると考える。

6 防災イベントの振り返り

※虹色学園 地域防災イベント 2025 実施報告書 参照

開催日：11月29日（土）

目的：新しい学区での住民、学校、地域の繋がりを防災視点で強化し、自助・共助・協働の基盤づくりを目指した。

体制：企業4団体＋講師1名の協力を得た。学校教職員・児童生徒・地域ボランティアが運営に参加した。スタッフ約40名

来場者：120名

【出展】

- ・つくば市危機管理課→防災テント、パネル展示、災害用トイレ体験を実施した。
- ・つくば市社共→防災スリッパ作成、防災クイズを実施した。
- ・東京ガス→ガス管の仕組み、震災時のガス遮断の仕組みを模擬装置で説明した。
- ・東京PG→家庭用ブレーカーの仕組みと操作説明を行った。
- ・ナダレンジャー→2回公演した。2回目は人数が少なめだったが学びが得られ好評であった。
- ・謎解き→自宅避難の方法をキットで学ぶゲームを実施した。児童生徒のボ

ランティアが運営を行った。

- ・プレイスペース→ペットボトルキャップを使った防災グッズのパズルが好評であった。

【運営・会場】

- ・体育館保護シート、テント設営などに教員が協力した。インフルエンザによる欠員があったが、当日運営は無事実施できた。
- ・昼を挟む4時間開催は内容を詰め込み気味だった。
- ・入口で案内動画を上映し、受付負担を軽減できた。今後は生徒にも作成に関わってもらえるといい。

【物品・配布】

- ・参加証を配布した。謎解き正解者に「防災マスター認定証」を配布し好評であった。

【広報】

- ・区会回覧板、チラシ、商業施設掲示、学校配布、研学まちづくりSNS発信した。島田委員、二木委に尽力いただいた。ポスター印刷で市登録業者の制約により単価が高い発注となった。登録、発注の仕組み改善の要望をしたい。

【総括】

- ・来場者アンケートを失念→運営側の反省、来場者の声をスタッフ経由で収集したい。
- ・体験型コンテンツは子供から大人まで関心が高く、防災理解が促進された。
- ・団体間の周知、連携にも有益であった。
- ・集客、事前周知、スケジュール運営には課題が残った。
- ・名称や内容の伝え方、開始時間や会場の構成は工夫が必要である。
- ・ボランティア制度の活躍機会や高齢者を含めた幅広い世代の参加促進も課題である。
- ・地域住民と関係団体が直接交流し防災について学べる非常にいい機会となった。内容の質は高く、工夫次第でさらに多くの来場者に防災意識を広められる可能性を持っている。今回の振り返りを次回の企画、運営に活かすことで、より魅力的で効果的な地域防災イベントへ発展していくことを期待している。

川島委員：常陽小学生新聞に大きく載る。

渡部委員：「根拠の適切さを考えて、自分の考えを伝える」を「根拠に基づいて適切に自分の考えを伝える」に変更し来年度のグランド・デザインを作成予定である。

7 その他

事務局：1年間大変お世話になりました。アンケート記入のお願いしたい。コ

コミュニティ・スクール評価ガイドラインを見て皆さんの振返りとして活用して欲しい。1年間、活発な活動があり特に防災イベントは素晴らしいイベントだった。さらにブラッシュアップし継続してほしい。今年度のコミュニティ・スクール協議会にご協力いただきありがとうございました。

岸委員：来年度については詳細が決まり次第、T e a m s やメールでお知らせする。

8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページに掲載予定

令和7年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和8年2月9日（月）

9：00～11：00

場所：研究学園小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 学園長挨拶

3 予定の確認

4 授業参観

5 協 議

○ 熟議 テーマ

「R7年度学校評価についてと次年度に向けての共有・協議」

- ・ R7 学校評価アンケートについて
- ・ R8 グランド・デザイン（案）について

6 防災イベントの振り返り

7 その他

- ・ 来年度に向けての連絡

8 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回虹色学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年11月25日（火）開会14:00 閉会16:00		
開催場所		つくば市立研究学園小学校 多目的室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野尻 敏弘、榎 幸子、実川 菜穂、三田部 勇、仲村 健 島田 由美子、二木 重光 研究学園中学校：校長 板谷 亜由美、教頭 岸 ゆう子 教務 落合 里美 研究学園小学校：校長 渡部 哲、教頭 川島 真由美 教務 土田 剛士		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 一部公開
非公開の場合はその理由		傍聴者数 0人		
議題		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
会議録署名人		地域防災イベントの共有・協議について		
		確定年月日	年	月 日
会議次第	1 開会 2 学園長挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観（14:10～14:30） 5 協議（14:35～15:55） ○熟議 テーマ「地域防災イベントの共有・協議について」 ・イベントの概要 ・マニュアルの確認 ・来年度の実施について 6 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について（令和8年（2026年）2月9日（月）9:00～） 7 閉会			

<p><審議内容></p> <p>1 開会</p> <p>三田部会長：会議を進行するに当たり書記を虹色学園の榎委員にお願いしたい。 →承認</p> <p>今回、熟議では防災イベントが中心になっているが、サポーター、地域の皆様が連携を取って今の形になっているのがとても素晴らしい取組である。今回、各々確認してもらい素晴らしいイベントになると思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
--

2 学園長挨拶

板谷委員：11月29日（土）の地域防災イベントが迫ってきた。熟議の方でより充実したイベントとなるようにしていけたらいい。

3 前回の議事の確認

三田部会長：詳しい内容については、つくば市教育委員会ホームページに掲載されているので確認をお願いしたい。→特に意見なし。

4 授業参観（14:10～14:30）

1年生から9年生の参観

5 協議（14:35～15:55）

○熟議 テーマ「地域防災イベントの共有・協議について」

川島委員：授業参観ありがとうございました。虹色学園の児童、生徒は頑張っている。子供たちを巻き込んで11月29日（土）に地域防災イベントを開催したいと思っている。内容については中心になって動いている実川委員にお願いしたい。

・イベントの概要 ※虹色学園防災イベント2025 運営マニュアル、配置図、参照

・マニュアルの確認 ※虹色学園 地域防災イベント当日運営ガイドライン参照
実川委員：イベント概要、当日マニュアルの説明を行った。

川島委員：運営体制について 総合責任者：三田部会長、来客対応責任者：岸委員にお願いしたい。

実川委員：来客、トラブルの対応は校長先生、三田部会長になっているが変更するか。→変更なし。

板谷委員：当日はどこか取材にくるのか。→取材対応等については、川島委員が担当する。

板谷委員：市長訪問対応についてはどうか。

野尻委員：当日バタバタしてしまうので、基本的な話し相手として、校長先生に対応をお願いしたい。内容のヒアリングを求められたら、話を振っていただけるといい。→基本的には校長先生が対応、話を聞きたい場合には、各ブースに誘導する。

野尻委員：渡部委員と板谷委員委対応を依頼する。各ブースを巡る方向で検討する。

実川委員：基本的に実川は本部に待機している。各担当に責任者を設けている。先生方には子供たちの見守りをお願いしたい。

野尻委員：子供たちに感謝状を作成する。三田部会長の名前を入れる。→了承。

川島委員：名前が入っていない方の漏れはないか。→大丈夫。

実川委員：当日、最終確認。最終資料はLINE WORKSとTeamsにアップする。

川島委員：休憩室はサポーター会議室とする。担当確認については大丈夫か。

→了承。

実川委員：机や椅子など必要なものの準備はまとめて置いておいてもらいたい。前日準備でサポーターズが来る。雨が降った場合の対応はどうか。→学校で子供たちが使っている傘立てを準備する。

実川委員：入口、駐輪場について、玄関は開放するが大丈夫か。→大丈夫。

実川委員：スタッフは室内履き持参だが、お客さん用スリッパは足りるか。→大丈夫

渡部委員：子供たちは上履きを持参してもらおうといい。

板谷委員：謎解きは中学校の体育館使用となっているが中学校の体育館玄関は開けないのか。→体育館の間の通路を通ってもらう。

板谷委員：すのこを手前に移動する。謎解きは見学可能か。→可能。

渡部委員：謎解きとは何か。

実川委員：在宅避難グッズを使用し、防災に必要な備品を探すゲームである。自宅避難する時に学べるグッズなどを謎解きしながら集める。今回よりキットを使える権利を購入している。この先、必要であれば使用料のみで学校で使用できる。1回の実施時間は30分程度を予定している。

三田部会長：他のブースは自由に見て回れるのか。→来ていただいた人たちで見回ってもらう。

渡部委員：謎解きは同じ内容を4回やるのか。→その通りである。

実川委員：各ブース色々な展示や体験できるものもあるので、10～20分程度時間がかかる予定である。

川島委員：防災倉庫については回るのか→覗く程度に考えている。

川島委員：体育館に緑のシートを敷く。→当日準備でテーブルを置く両サイドにシートを敷いておく。

川島委員：立て看板を設置する時に補助に入るか。→サポートのお願いをしたい。

川島委員：トイレは小中学校体育館のトイレを使用するのか。→その通りである。

渡部委員：子供たちにノベルティ用の袋を持たせた方がいいか。→あったほうがいいだろう。

三田部会長：救護ブースについては。→校外学習の時に持って行く用のキットを準備する。

三田部会長：何かあった場合、本部にいる大人が対応した方がいい。

仲村副会長：ロゲイニングのイベント（研究学園エリアのまち全体を会場としてオリエンテーリングに似たイベントを行い、地域内外からの参加者で街を巡る）を区会連合会研究学園支部でやるので、100人弱が参加し、街の中のチェックポイントを回る。チェックポイントに研究学園小の体育館に入っていただくことを事前に調整のお願いをしてきた。いい連携になるのではと思っている。ロゲイニングの参加者が体育館と体育館の間を通路として通るのは大丈夫か。→駐車場の車に気を付けてもらえれば大丈夫である。

仲村副会長：ロゲイニングの子供たちは蛍光緑のビブスを着用している。

島田委員：謎解きやナダレンジャーには参加できないのか。→時間的に難しい。流れでブースを見る感じになる。

野尻委員：フォトブースで写真を撮るのはどうか。→フォトブースで写真を撮ることでポイントアップにするなど、ルールに入れて考えてみる。

仲村副会長：ロゲイニングは10時から13時ぐらいまでの予定である。

川島委員：ロゲイニングの参加者は。→小学生は大人と参加する予定である。子供たちだけになった場合、大学生がグループに入る。

二木委員：スタッフのビブスはどのように準備するのか。→サポーターズで準備する予定である。

二木委員：撮影の目的は何なのか。→記録、CSで発表する目的や学校のイベントをした蓄積として撮影する。

二木委員：後ろ姿、顔は写らない方がいいのか。顔が写っていなければまちづくりのSNSにアップ可能か。→顔の特定ができなければ大丈夫である。

野尻委員：撮った写真は全て直接欲しい。対外的に出すものに対して気を付けて欲しい。

板谷委員：ロゲイニングの参加者は何人か。→60人は参加申込みがあったが何人かはまだ読めない。

仲村副会長：市長は気さくに質問などをしてくれる。短い時間でのやりとりになると考えられる。

川島委員：サポーター、出展者の休憩場所はあるのか。→サポーターズ室のみでいい。

渡部委員：駐車場は出展する人は中学校横、スタッフや先生は野球場横を使用してもらう予定である。

渡部委員：サポーターズ室の位置を帰りに確認したい。

・来年度の実施について

川島委員：来年度も防災イベントをやるのか。→まだ考えていない。内容は変更してもいいのではないか。

川島委員：次年度もやるのなら、「平日開催などにして子供たち全員を巻き込んで年間行事に入れてもいいのでは」と話があった。

野尻委員：働いている人が多いので、平日開催はハードルが高い。

榎委員：一回大きいイベントをやると休憩も必要である。

仲村副会長：全校でやるのはハードルが高いが、有志の子供たちを集めるなど、興味を持った子供たちでグループを作るなどクラブのような形で、継続的に一緒に話ができるCS協議会メンバーがそこに入れるといい。平日に子供たちと話し合い、本番は土日など整理できると良いのではないかと思われる。

野尻委員：共有として、子供たちにやりたいことのアンケートを取った。何かやりたいニーズは強いが具体化できないのが現状だったので、うまくコーディネートできるといい。子ども達はイベント経験が少ないのでいい案がいただけると有難い。

仲村副会長：問題意識は同じで子供たちが動きやすいよう、大括りに「何かをやりたい」というより、これまでの子供たちの声も参考にしながら、もっと具

体的に動けるように目標設定を投げかけてみることも一案ではないか。やりたいことや目標とイベントの主旨がつながってくるといいと思った。すぐにはできないので、3年後など少しゆるやかな時間軸でできるといい。

野尻委員：アンケート結果を子供たちにフィードバックし、進展があればいい。

渡部委員：子供が参加だとブースの数も多くなるが、子供たち自身で出店とお客さんで回るなどの参加ができるものもいい。

板谷委員：参考として、春日学園義務教育学校では各クラスで防災の出し物をした春日フェスタを実施している。近隣の学校に研究学園の話をしたところ、春日の教頭先生が見に来てくれる。

野尻委員：春日フェスタは年間行事の一環として行ったのか。→今年度初めて実施したが、行事の位置づけとして実施していた。

川島委員：子供たちのためのCSなので子供たちの成長に繋がればいいと思う。

6 その他

事務局：当日をととても楽しみにしている。春日学園義務教育学校の話ですが、児童生徒会がCS協議会の中に入っている。去年、子供たちから「文化祭をどうしようか」と提案があった。地域の人と関わりたいと提案があり、PTAから地域を巻き込むのなら、「防災かな」と話があり、防災に関する文化祭にしていきましょうと、つくばスタイル科で学んだことを中学校の生徒たちがブースを作って展示していた。小学校は縦割りで展示を見て回っていた。午後はPTAでいくつかブースを作ったり、防災士の資格のある芸人を呼んだりしていた。香取台小や小野川小、秀峰筑波義務教育学校など市内で防災に関するイベントをしている。市でも12月に情報交換会があるので情報共有ができるといい。3月にも情報交換会を開催予定している。機会があれば実践した報告などしていけるといい。冊子「地域も学校も共に活性化するためにコミュニティ・スクールはどうあるべきか」社会教育委員会で話し合いをし、答申を作成したのでポイントに目を通していただきたい。

・第3回コミュニティ・スクール協議会は研究学園小学校、多目的室、令和8年2月9日（月）9:00～開催予定。

7 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。